

Brown Bag Seminar



ブラウンバックセミナー

録画期間限定公開
オンライン (Zoom)

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

2021.11.17 (水)

登録はこちら

日 ↔ 英 同時通訳

12:10 ~ 12:50

12:10-12:15 ◆ 演者紹介
12:15-12:40 ◆ プレゼン
12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_NasJ-J3ARjGE2mgw2iz9TA

九大水素プロジェクト： 脱炭素社会実現を目指して

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

低炭素社会への移行が世界的に本格化してきました。カーボンニュートラルを目指す脱炭素化では、CO₂ を排出しない化学的なエネルギー媒体「水素」の本格普及が鍵となります。本講演では、水素エネルギーに関する国内外の動向や今後の展望を含めて、「九大水素プロジェクト」について紹介します。また、水素エネルギー分野の世界随一の大学院専攻である九州大学の「水素エネルギーシステム専攻（工学府）」や、脱炭素研究を行う全学の博士課程学生を支援する「脱炭素エネルギー先導人材育成フェローシップ」についても説明します。

水素エネルギーシステム専攻

九大水素プロジェクト

カーボンニュートラル

Key Words

水素エネルギー

脱炭素エネルギー先導人材育成フェローシップ



佐々木 一成 副学長・主幹教授
九州大学
(工学研究院 / 水素エネルギー国際研究センター長)

佐々木教授は、1965年京都生まれで、1987年東京工業大学工学部卒業、1989年東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了、1993年スイス連邦工科大学チューリッヒ校で工学博士号を取得しました。ドイツ・マックスプランク固体研究所を経て、10年間の在欧後、1999年九州大学・助教授に着任し、2005年教授、2011年主幹教授を経て、2016年から副学長を務めています。燃料電池の材料・プロセス研究などに従事し、多くの水素関連企業などとの産学官地域連携を進め、「九大水素プロジェクト」を先導しています。

